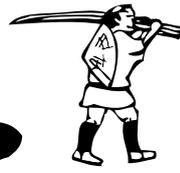


## 大山街道



大山街道景観形成協議会  
川崎市 まちづくり局計画部  
景観・まちづくり支援課  
TEL：044-200-3022  
FAX：044-200-0984

## おすすめデザイン集の 考え方の紹介とアンケートのお願い

大山街道都市景観形成地区の安全及び景観についての方針・基準では、安全確保や景観形成のために地域の皆で守っていくルールを定めてきました。

今年度は、これらのルールを補うものとして、基準の範囲内で建物等を設計する際に、より良い街なみ形成につながるアイデアや工夫を、事例写真や図面などを用いて取りまとめた「大山街道街なみ作法集 ～おすすめデザイン集～」を作成しています。

このデザイン集は、基準のように強制力があるものではなく、より良い街なみをつくるために参考にさせていただくためのアイデアや工夫をまとめたものです。皆様個々の事情に合わせ、可能な範囲で採用していただくことで、大山街道らしい質の高い街なみの実現を目指していきたいと考えております。

このお知らせでは、検討の途中経過をお知らせするとともに、別紙のアンケートにて、大山街道らしい質の高い街なみを皆様と実現していくために、いろいろなお意見をいただければと考えております。

皆で守っていく部分

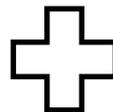
より質の高い街なみ形成  
のために工夫する部分

### ■ 都市景観条例に基づく、安全及び景観形成の方針と守るべき基準

#### 大山街道都市景観形成地区

<溝口地区>安全及び景観形成方針・基準

<二子地区>安全及び景観形成方針・基準



### ■ より質の高い街なみ形成を行なうために 具体的に推奨するアイデアや工夫をまとめたもの

#### 大山街道街なみ作法集 ～おすすめデザイン集～

大山街道らしさを「現代的な魅力」と歴史性からくる「和の心」の両面から形づくるため、「基本の作法」と「応用の作法」を設けています。

# かつての街なみの振り返り

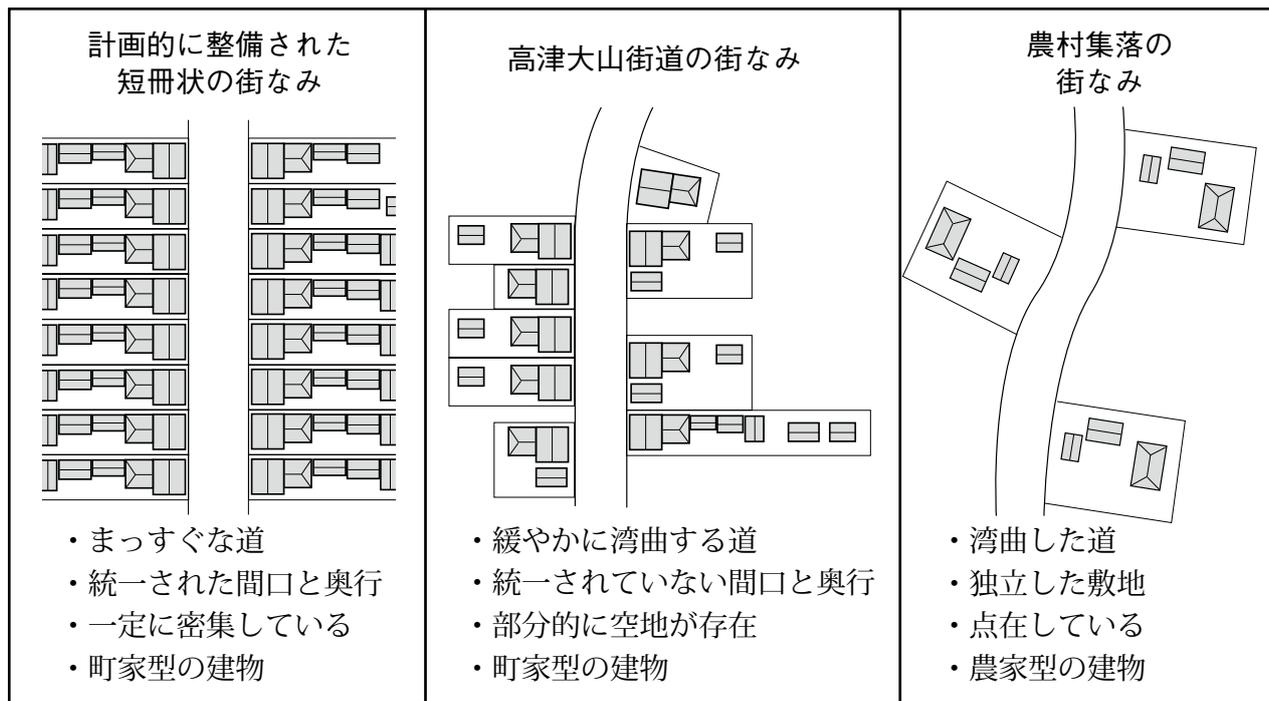
かつての大山街道は、宿場町としてのにぎわいのある街なみで、短冊型の地割りに町家が並んでいましたが、主要街道ほどは密度が高くありませんでした。街なみの特徴は模式図（下）のように、計画的に整備された京都のような短冊状の街なみと農村集落の中間に位置し、間口がまちまちであったり、裏には田畑が広がっていたことが特徴的といえます。このことから、緑も豊かだったと推測されます。

また、大衆の道として栄えた大山街道の街なみでは、街道に対して開かれた町家も特徴と言えます。土間や街道に対して開け放たれる戸により、人を招く、もてなす空間が多く作られていました。

丸屋ふとん店、大石橋、いなげ屋、甲州屋（昭和41年）ふるさと館所蔵



## 街なみの模式図



## 現代の街なみづくりへの継承

建物が密集した宿場町には、良好な環境をつくるための工夫がたくさんありました。

町家は、間口を狭くし、軒を設けることで、人のスケール感に合った\*街なみを構成しています。建物の壁面の位置を揃え、窓に格子をはめるなど、街なみを整える工夫も行なわれていました。街道に面して土間などのもて

なしの空間が設けられ、憩いの空間をつくってしていました。また、街道には適度なオープンスペースや緑の空間も存在しています。

このような街なみづくりのための時代を貫いて共通する知恵を、現代の「大山街道らしい」街なみづくりへと継承していくことが大切です。

\* 人のスケール感に合う：人の感覚にあった程良い規模や大きさになっていること。

# これからの大山街道の街なみ形成の考え方をまとめました

## 1) 宿場町から受け継ぐ、人のスケール感に合った街なみの形成

かつての溝口宿、二子宿は、人のスケール感に合った低層の街なみが続いていました。

高層建築が建ち並ぶ現代においても、宿場

町から受け継いだ街なみ形成のアイデアや工夫により、人のスケール感に合った街なみを形成していきます。

## 2) 良好な都市環境の形成

宿場町の時代から短冊状の地割りで建物が建ち並んでいた大山街道では、公私の境界の作り方や採光の取り方など、密集した都市空間において良好な環境を形成するための様々

な工夫がありました。

これらの考え方を継承し、現代の街なみにおいても様々な工夫をして、良好な都市環境を形成していきます。

## 3) にぎわいの空間が連続する街なみ形成

街なみのにぎわいは、主として1階部分のしつらえによってつくられます。建物の1階

の部分ににぎわいの空間をつくり、それらが連続する街なみを形成します。

## 4) 安全に歩ける歩行空間の確保

現在の大山街道の幅員は約7メートルと狭いですが、交通量は非常に多く、一部はバス通りになっており、歩行者にとって歩きにく

い道です。そのため、街なみ形成においても安全に歩ける歩行空間の確保が重要です。

## 5) 緑豊かな街なみ形成

大山街道周辺には、多摩川の河川敷や多摩の里山と呼ばれる崖地、宗隆寺の緑地など固まった緑が多く残っています。大山街道にお

いても緑化を推進し、これらの緑地と連続した緑豊かな街なみを形成します。

# 検討中の「大山街道街なみ作法集 ～おすすすめデザイン集～」

大山街道街なみの作法では、大山街道らしい街なみは、「現代的な魅力」と歴史性からくる「和の心」の両面からつくられるものと捉え、街なみ形成のアイディアや工夫を「現代の街なみの魅力を高めるための基本の作法」と「和の街なみを意識した応用の作法」としてまとめています。

## 1. 人のスケール感に合った秩序ある街なみをつくる

基本：①街なみは2階までの外観でつくる

- ②間口が広い場合は分節化する
- ③1階及び2階の間に高さをそろえた軒または、はり出し等を設け、宿場町のスケール感を形成する
- ④バルコニーは外壁の構成要素として一体的にデザインする

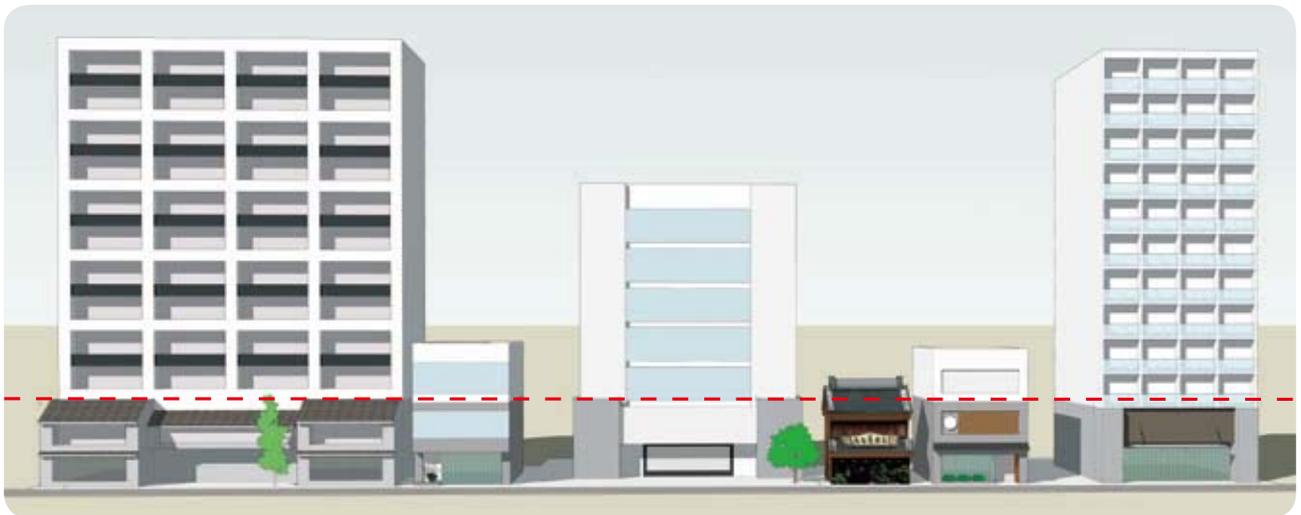


応用：①軒や庇に和のデザインを用いて街なみを演出する

- ②開口部に格子などを用いて外壁を整える
- ③正方形格子の形態を取り入れたバルコニーのデザインなど、外壁のデザインに和を感じるモジュールを取り入れる
- ④和のデザインで駐車場を修景する



<街なみのイメージ図>



## 2. 自然素材を活かした落ち着いた色彩を用いる

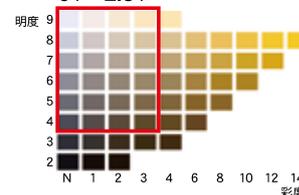
基本：①景観形成基準の色彩の基準を遵守する

応用：①和が感じられる色彩とする

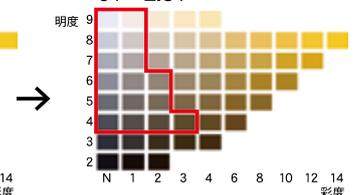
- ②和の素材から想起されるテーマ色を効果的に使用する
- ③自然素材のそのものの色を用いる

例：低層部（1.2階）

景観形成基準  
0Y～2.5Y



さらに絞り込む  
0Y～2.5Y



### 3. もてなしと賑わいの空間をつくる

基本：①景観形成基準の安全空間の確保の基準を遵守するとともに、

1階はもてなしと賑わいの空間にする

②セットバック部分の舗装面は和を意識した街なみの統一を図るため、

白を基調としたものとする

応用：①和の街なみを意識したもてなしの空間をつくる



基本①



基本②



応用①

### 4. 暖かみのある灯りを用いる

基本：①照明は暖かみのあるものとする

応用：①灯りのデザインに和のものを用いる



基本①

### 5. 緑豊かな街なみをつくる

基本：①街道に面した部分を積極的に緑化する

応用：①竹などを用いて和を感じる緑化を行なう



基本①

### 6. 魅力的な看板や装飾を用いる

基本：①景観形成基準の広告物の基準を遵守するとともに、魅力的な看板や装飾を用いる

②広告物は集約化するとともに、節度ある大きさ、色彩とする

③設備は通りから見えない位置に設置するか、修景する

④自動販売機は建物と一体的になるよう工夫するか、落ち着いた色彩を用いる

応用：①木製の看板や垂幕、

のれんなどを設置する

②地（背景）に中彩度、中明度の和を想起する色彩を用いる



基本③



応用①

# 今後のスケジュール

今後、アンケートの結果を踏まえ、大山街道街なみ作法集の素案を作成します。

素案は、12月13日（日）に開催される「第3回大山街道アクションフォーラム」において、広く地域のまちづくりに関わる皆様にお示しし、ご意見をいただきたいと考えております。

アンケートの実施（10月）



素案の検討（大山街道景観形成協議会／デザイン専門委員会）



第3回大山街道アクションフォーラム  
～素案のおひろめとご意見の募集～

【日時】12月13日（日） 午後2時～

【場所】大山街道ふるさと館



川崎市は、高津大山街道界わいにある歴史的・文化的な資源を保全・活用し、魅力的な空間の創造と地域の活性化を図ることを目的として、2009（平成21）年3月に「高津大山街道マスタープラン」を策定しました。

「大山街道アクションフォーラム」では、今後10年間かけて、地域の皆様と一緒にプランの実現に向けた具体的な取り組みを始めています。

ぜひ足をお運びください。



修正案の作成（大山街道景観形成協議会／デザイン専門委員会）



「大山街道街なみ作法集～おすすめデザイン集～」の配布（3月）